

# 兵庫県下の経済動向

平成22年10月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは幾分鈍化している。

輸出はアジア向けを中心に増加しているが、その伸びはやや鈍化している。生産も、一頃に比べると増加ペースは鈍化している。設備投資は、下げ止まっている。個人消費は、猛暑の影響やエコカー補助金終了に伴う駆け込み需要などによる持ち直しの動きがみられる。また、住宅投資は持ち直しの動きがみられている一方、公共投資は増勢が一服している。この間、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きがみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が中旬まで厳しい残暑が続いたことで、婦人服など秋物衣料品が振るわなかったこともあり、2か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車とも減少したことから、15か月ぶりに前年を下回った。家電販売は、エコポイント制度の効果などから薄型テレビの販売を中心に堅調となっている。

設備投資は、製造業は僅かながら減少する計画となっているものの、非製造業が増加計画となっていることから、小幅ながら増加に転じる計画となっている。

住宅投資は、持家、分譲、貸家とも増加し、全体では2か月連続で前年を上回った。

公共工事は、独立行政法人等や神戸市を除く市町などが減少したことから、3か月ぶりに前年を下回った。

貿易は、輸出が米国、アジア、EU向けが増加し、8か月連続で前年を上回った。また、輸入についても7か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、電気機械工業、情報通信機械工業、金属製品工業などの上昇により2か月ぶりに上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率が前月を上回ったほか、新規求人数も前年を上回った。

また、所定外労働時間は前年を上回ったものの、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数、負債総額ともに前月および前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

7月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数88.9%、遅行指数87.5%となった。

7月の兵庫CIは、先行指数94.1、一致指数92.1、遅行指数95.3となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月連続で50%を下回ったが、一致指数が14か月連続、遅行指数が4か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を上回った。

一方、兵庫CIは、一致指数が2か月連続で前月差減となったが、先行指数は3か月ぶり、遅行指数は3か月連続で前月差増となった。

県統計課は「今年の年末にかけて、景気が足踏みする可能性がある。」としている。

\* 兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

8月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は98.9、前月比4.2%上昇。出荷指数は96.6、同0.3%上昇。在庫指数は103.4、同1.9%上昇。在庫率は117.5、同4.1%上昇。生産指数は2か月ぶりに上昇、出荷指数は2か月連続で上昇した。また在庫指数は3か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が19.5%増で9か月連続で上昇し、出荷も14.5%増で9か月連続で上昇した。また在庫は2.0%増で18か月ぶりに上昇した。

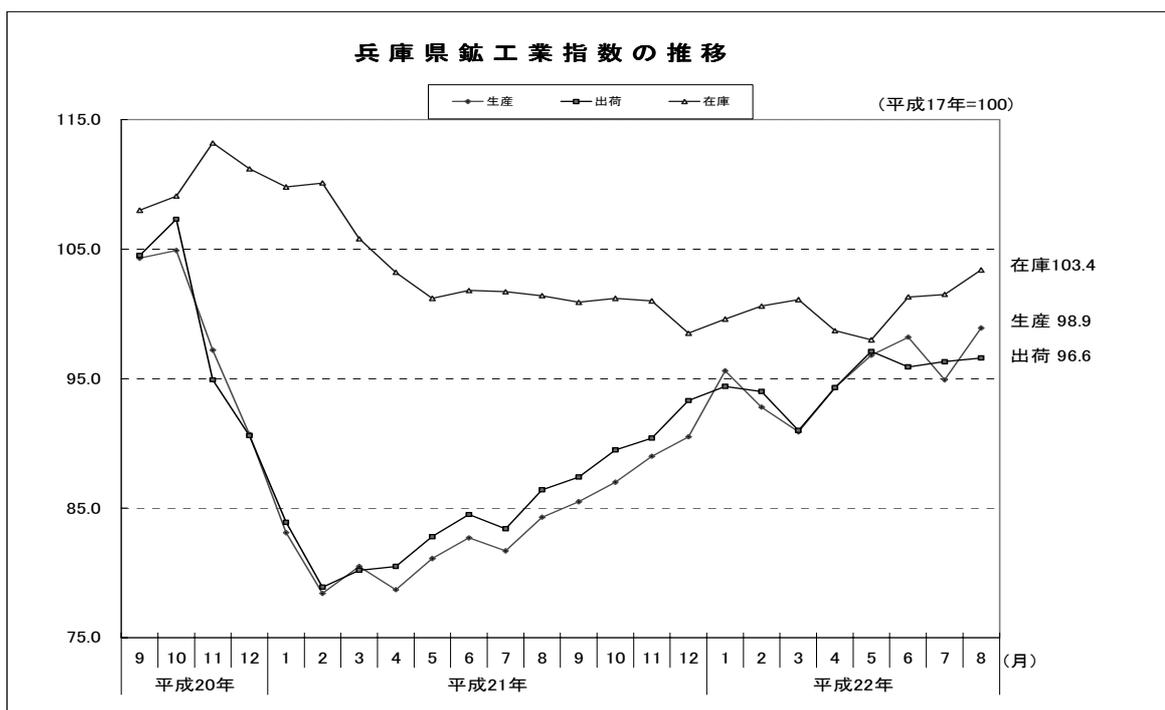
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、鋼半製品等の「鉄鋼」が15.2%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が11.4%低下したものの、非標準油入り変圧器等の「電気機械」が19.1%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が15.2%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が14.9%、各々上昇した。

県統計課は、「兵庫県の生産活動は、横ばい傾向。出荷も5月以降横ばいで、生産が鈍化する可能性がある」としている。

8月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	98.9	4.2	91.8	19.5
出 荷	96.6	0.3	91.7	14.5
在 庫	103.4	1.9	103.6	2.0
在 庫 率	117.5	4.1	124.5	17.9

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



### 8月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	81.9	15.2	上昇	銑鉄鋳物、鉄系鍛工品、大中小形鋼、鍛鋼品
			低下	鋼半製品、粗鋼、銑鉄、普通鋼鋼帯
金属製品	94.0	14.9	上昇	ガス温風暖房機、鋼索、橋りょう、ビル用アルミニウムサッシ
			低下	ガス風呂がま、ガス湯沸器、PC鋼より線、超硬チップ
一般機械	100.8	11.0	上昇	一般用蒸気タービン、プレス用金型、ボイラ部品、混合機・かくはん機・粉砕機
			低下	反応用機器、集じん機器、熱交換機、トンネル掘進機
電気機械	124.9	19.1	上昇	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用タービン発電機、開閉制御装置、電力変換装置
			低下	リチウムイオン蓄電池、計器用変成器、工業用計測制御機器、電気がま
情報通信機械	100.1	15.2	上昇	パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、カーナビゲーション、モニター(電子計算機用)
			低下	レーダ装置、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、カーオーディオ、搬送装置
電子部品デバイス	165.9	2.8	上昇	PDPモジュール、シリコンダイオード、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、電界効果型トランジスタ
			低下	トランス(コイルを含む)、シリコントランジスタ(1W以上)
輸送機械	73.7	11.4	上昇	旅客車、特装ボデー、機関部品、シャシー・車体部品
			低下	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、懸架制動装置部品、鋼船
化 学	101.8	0.5	上昇	自動車排気ガス浄化用触媒、化粧品、塩化ビニル樹脂、複合肥料(化成肥料)
			低下	酵素、無水酢酸、純ベンゼン、酸化亜鉛
食 料 品	107.4	2.4	上昇	清酒、ビール類、塩、牛乳
			低下	即席めん、パン類、精米、配合飼料

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた9月の県内百貨店売上高は158億74百万円、前年同月比5.1%の減少で、2か月連続で前年を下回った。中旬まで厳しい残暑が続いたことで、婦人服など秋物衣料品が振るわなかった。

神戸地区は5.1%減。衣料品は全5店舗でマイナスとなった。一方で、生鮮食品は大丸神戸店やそごう神戸店など4店舗で前年を上回った。「デパ地下」を日常的に利用してもらおうと、食品フロアでのイベントや地元食材の販売などに力を入れる店舗が多く、その対策が功奏したとみられる。

姫路・加古川地区は5.2%減で、マイナス幅は3か月ぶりに拡大。ヤマトヤシキは食料品が伸び悩んだが、家具や紳士服が前年を上回り、山陽百貨店は食料品や雑貨が好調だった。

日本百貨店協会は「前年のシルバーウィークの連休が今年は飛び石の休みとなったため、優待セールなどを積極展開した店が目立った」としている。

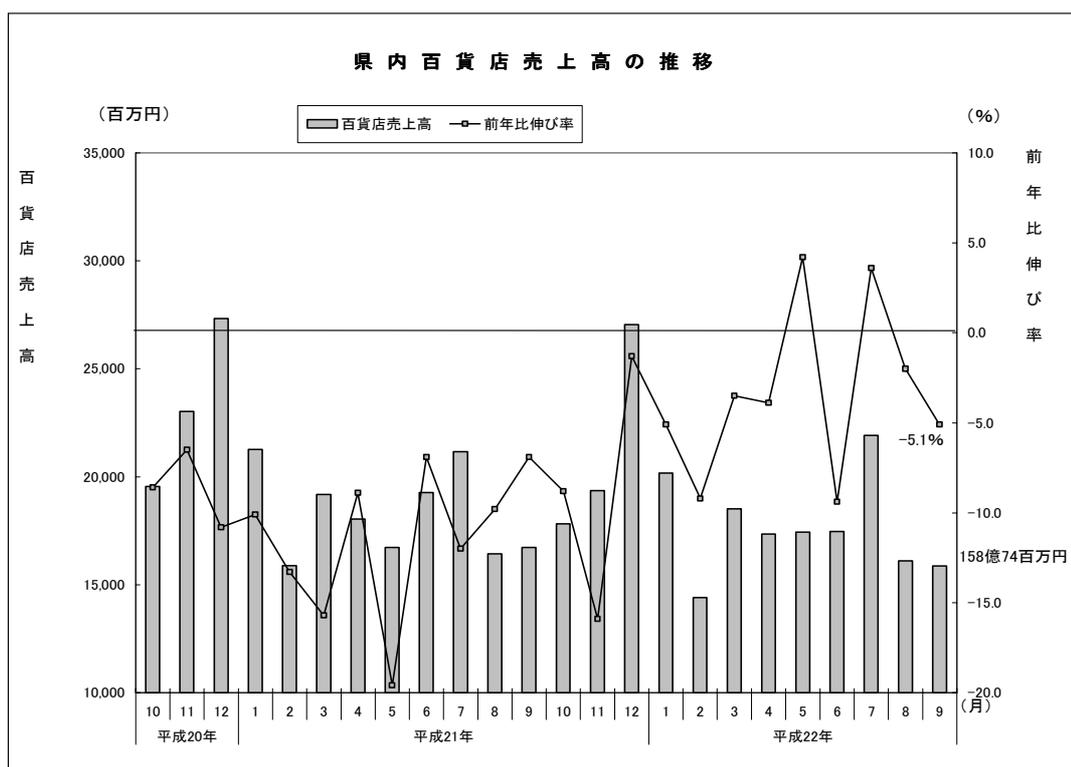
9月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	554( 12.2)	157( 1.4)	712( 10.1)
婦人服・洋品	4,020( 6.3)	644( 8.8)	4,664( 6.6)
子供服・洋品	440( 5.4)	79( 10.9)	519( 6.3)
身の回り品	1,437( 10.9)	254( 1.9)	1,691( 9.7)
家庭用品	614( 2.6)	150( 8.6)	764( 3.8)
食料品	3,575( 3.4)	643( 1.8)	4,218( 3.2)
雑貨	1,972( 0.2)	361( 4.5)	2,334( 0.9)
その他	685( 2.4)	283( 6.4)	968( 3.6)
計	13,300( 5.1)	2,574( 5.2)	15,874( 5.1)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内9月の乗用車新車登録台数は16,338台、前年同月比6.2%減と15か月ぶりに前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

9月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,963台(前年同月比3.9%減)、小型乗用車は5,875台(同11.7%減)、軽乗用車は4,500台(同1.4%減)、乗用車合計で16,338台(同6.2%減)となった。

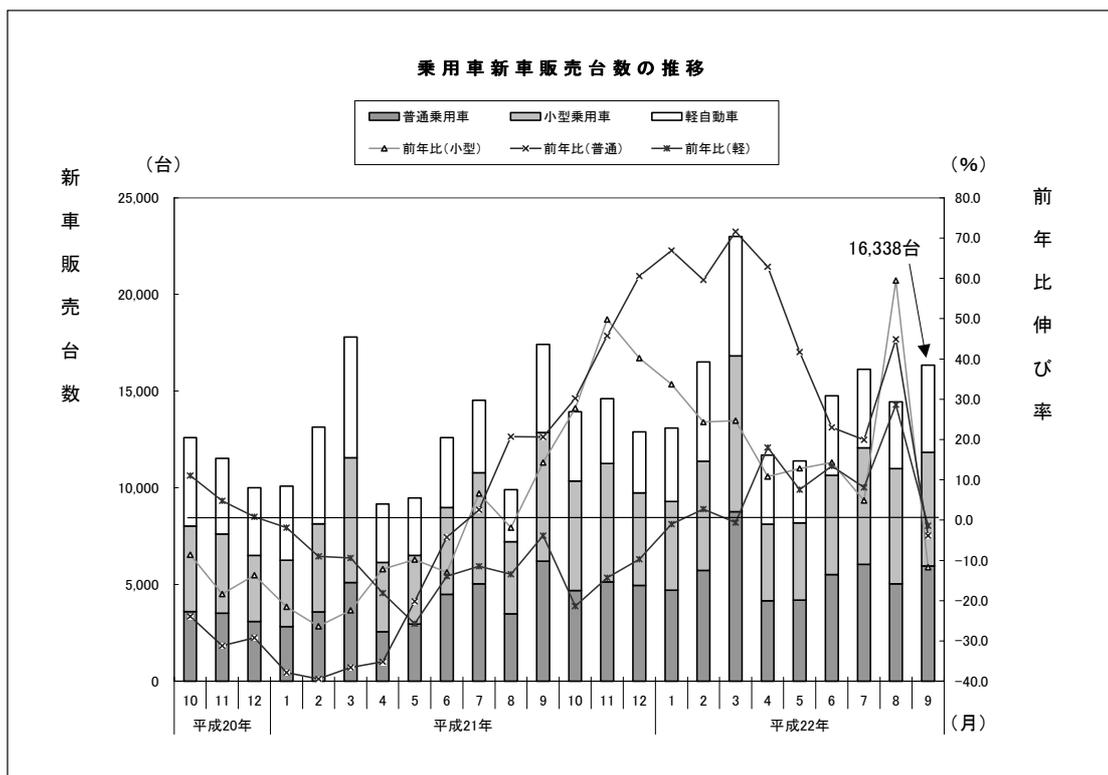
また貨物車等では、普通貨物車は253台(前年同月比6.8%増)、小型貨物車は632台(同4.6%増)、軽貨物車は1,510台(同14.8%増)、バスは24台(同52.0%減)となった。

### 9月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,963	3.9	140,555	2.3
小型乗用車	5,875	11.7	137,728	12.2
軽乗用車	4,500	1.4	122,378	2.2
<b>乗用車合計</b>	<b>16,338</b>	<b>6.2</b>	<b>400,661</b>	<b>3.2</b>
普通貨物車	253	6.8	10,207	2.3
小型貨物車	632	4.6	19,371	18.0
軽貨物車	1,510	14.8	40,907	12.6
<b>貨物車合計</b>	<b>2,395</b>	<b>11.1</b>	<b>70,485</b>	<b>12.4</b>
バス	24	52.0	802	27.6
<b>登録車総計</b>	<b>18,757</b>	<b>4.5</b>	<b>471,948</b>	<b>1.2</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が10月13日に発表した機械受注統計によると、平成22年8月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、22年7月前月比5.7%増の後、8月は同9.8%増の2兆2,070億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月前月比8.8%増の後、8月は同10.1%増の8,435億円となった。

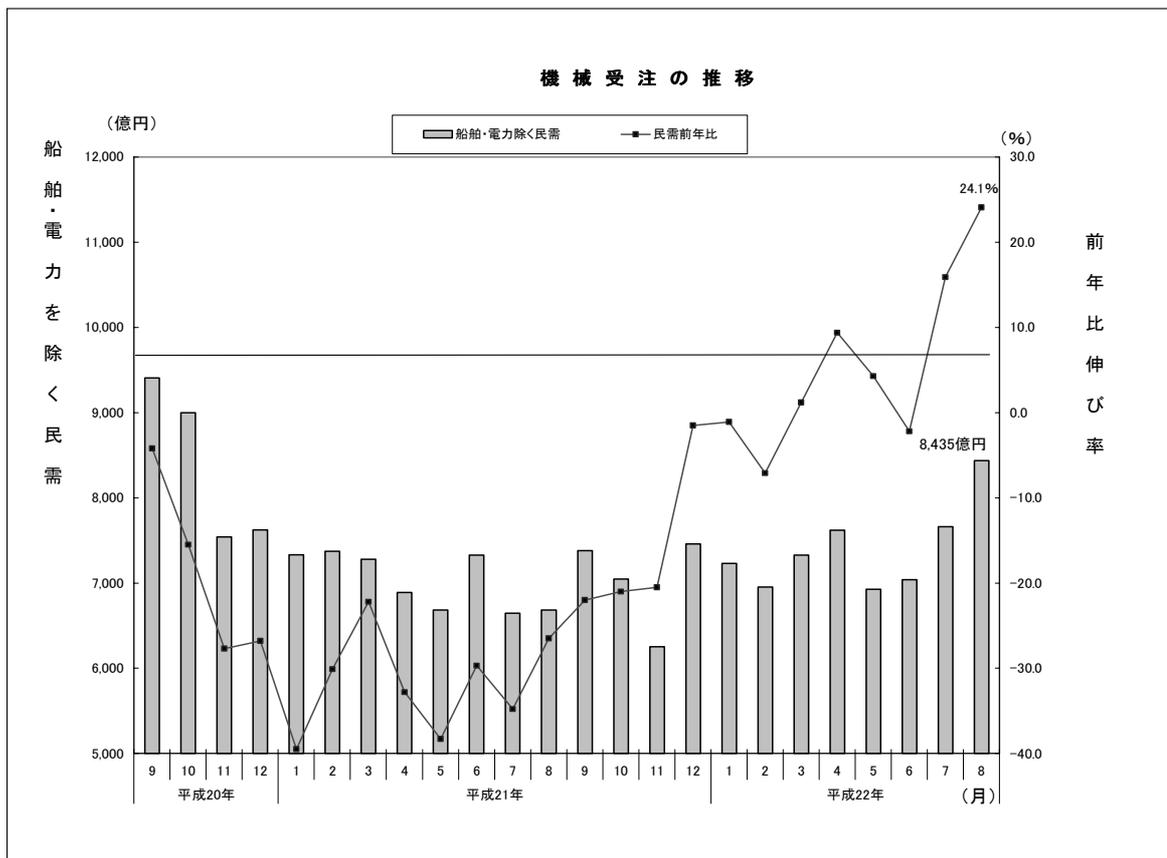
内訳をみると、製造業が同12.5%増の3,490億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同8.3%増の4,909億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属(272.0%増)、鉄鋼業(101.6%増)、造船業(64.5%増)、石油製品・石炭製品(62.0%増)、その他輸送用機械(59.9%増)等の8業種で、食品製造業(39.5%減)、パルプ・紙・紙加工品(27.9%減)、化学工業(18.9%減)、自動車・同付属製品(16.8%減)、窯業・土石製品(11.8%減)等の9業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業(223.3%増)、電力業(79.0%増)、不動産業(62.2%増)、情報サービス業(47.0%増)、運輸業(29.2%増)等の8業種で、リース業(56.2%減)、金融・保険業(18.0%減)、建設業(2.4%減)等の4業種は減少となった。

兵庫県下においては、2010年度設備投資額は、製造業は僅かながらも減少を見込んでいるものの、非製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果。2010年9月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+1.4%(製造業 0.3%、非製造業+7.0%)



機械受注統計（平成22年8月分）

（単位：億円、％）

	21年 7～9月 実績	10～12月 実績	22年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 見通し	22年 5月 実績	6月 実績	7月 実績	8月 実績
受注総額	49,456 ( 9.0) [-30.2]	53,425 ( 8.0) [-5.8]	58,247 ( 9.0) [ 17.4]	55,988 (-3.9) [ 23.7]	63,844 (14.0) [ 27.5]	17,428 (-10.8) [ 17.2]	19,027 ( 9.2) [ 24.2]	20,104 ( 5.7) [ 23.4]	22,070 ( 9.8) [ 38.4]
民 需	24,937 (-2.4) [-23.2]	25,095 ( 0.6) [-10.1]	25,854 ( 3.0) [ 0.2]	24,955 (-3.5) [-2.0]	26,767 ( 7.3) [ 8.0]	7,625 (-14.4) [-16.0]	8,423 (10.5) [ 2.6]	9,070 ( 7.7) [ 15.9]	11,304 ( 24.6) [ 32.2]
” (Ex 船・電)	20,671 (-0.7) [-27.3]	20,904 ( 1.1) [-14.0]	21,514 ( 2.9) [-1.8]	21,589 ( 0.3) [ 3.3]	21,759 ( 0.8) [ 6.2]	6,929 (-9.1) [ 4.3]	7,040 ( 1.6) [-2.2]	7,663 ( 8.8) [ 15.9]	8,435 ( 10.1) [ 24.1]
製 造 業	6,844 (-6.6) [-46.1]	7,994 (16.8) [-17.3]	9,129 (14.2) [ 29.2]	8,342 (-8.6) [ 13.2]	8,475 (1.6) [ 24.8]	2,562 (-13.5) [ 9.3]	2,816 ( 9.9) [ 6.9]	3,101 (10.1) [ 39.8]	3,490 (12.5) [ 50.8]
非製造業 (Ex 船・電)	14,063 ( 4.5) [-11.8]	12,956 (-7.9) [-10.8]	12,471 (-3.7) [-15.0]	13,192 ( 5.8) [-2.4]	13,113 (-0.6) [-4.1]	4,360 (-6.0) [ 1.5]	4,192 (-3.9) [-7.7]	4,532 ( 8.1) [ 3.5]	4,909 ( 8.3) [ 10.1]
官 公 需	8,048 ( 9.5) [ 20.5]	6,683 (-17.0) [-0.8]	6,861 ( 2.7) [-1.9]	6,845 (-0.2) [-4.8]	7,593 (10.9) [-1.6]	1,886 (-26.8) [-19.4]	2,383 (26.3) [-1.6]	2,351 (-1.3) [-19.2]	2,589 (10.1) [-4.5]
外 需	15,502 (33.5) [-46.8]	19,635 (26.7) [-0.9]	22,275 (13.4) [ 72.2]	22,806 (2.4) [ 94.2]	27,871 (22.2) [ 73.1]	7,608 ( 2.7) [129.5]	7,792 ( 2.4) [ 74.7]	7,995 ( 2.6) [ 50.2]	7,697 (-3.7) [ 68.9]
代 理 店	2,004 (10.3) [-32.4]	2,183 ( 9.0) [-13.0]	2,356 ( 7.9) [ 12.6]	2,408 ( 2.2) [ 32.4]	2,409 ( 0.0) [ 20.2]	727 (-17.9) [ 31.3]	796 ( 9.5) [ 28.7]	781 (-1.8) [ 21.0]	912 (16.8) [ 35.8]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内8月の新設住宅着工戸数は、総数で3,107戸(前年同月比44.6%増)となり、持家、分譲住宅、貸家とも増加し、全体では2か月連続で前年を上回った。尚、前月比では186戸の減少となった。

### 8月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	997	9.7	29,036	15.5
・分譲住宅	1,059	82.0	16,588	35.2
貸家系・貸家	1,030	56.8	25,892	16.9
・給与住宅	21	2,000.0	456	138.7
<b>総数</b>	<b>3,107</b>	<b>44.6</b>	<b>71,972</b>	<b>20.5</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

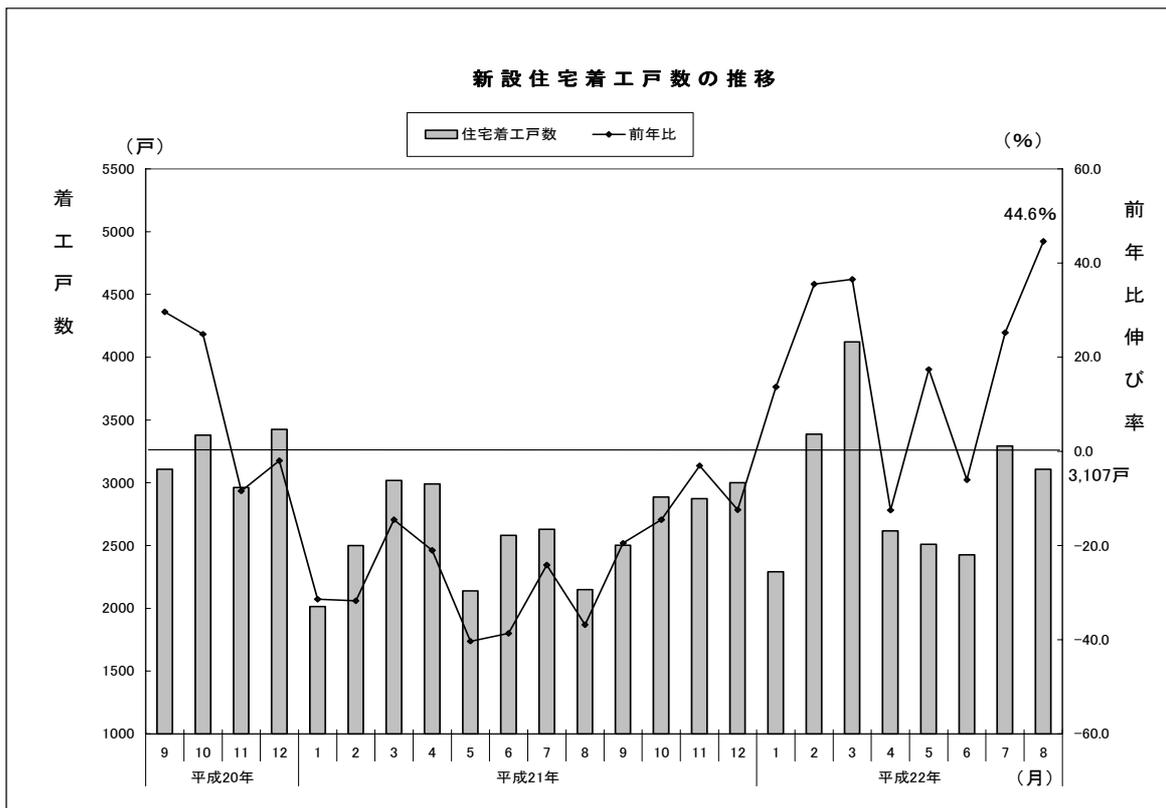
### 8月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	900	477	350	733	115	299	104	57	22	50	3,107
前月比	-120	-89	-157	+344	+41	-267	+11	+29	-4	+26	-186

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～8月の新設住宅着工累計は、総数で13,955戸、前年同期比1,463戸の増加となった。利用関係別では「持家」が4,651戸(前年同期比5.3%増)、「分譲住宅」が4,079戸(同23.8%増)、「貸家」が4,962戸(同13.2%増)、「給与住宅」が263戸(同33.6%減)となった。



## 【公共工事】

9月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は581件で前年同月比9.6%の減少、請負金額は313億54百万円で同1.4%の減少となり、金額ベースで3か月ぶりに前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」が前年同月比51.5%、「その他の団体」同37.7%、「神戸市」同26.3%の増加となったものの、「独立行政法人等」同62.8%、「神戸市を除く市町」同43.1%、「国」同6.7%の減少となり、前年同月を下回った。

地域別(金額ベース)では、中播磨(同160.0%増)、神戸市(同45.9%増)、東播磨(同17.0%増)等で増加となったが、阪神南(同62.9%減)、西播磨(同44.5%減)、丹波(同26.8%減)等では減少となった。

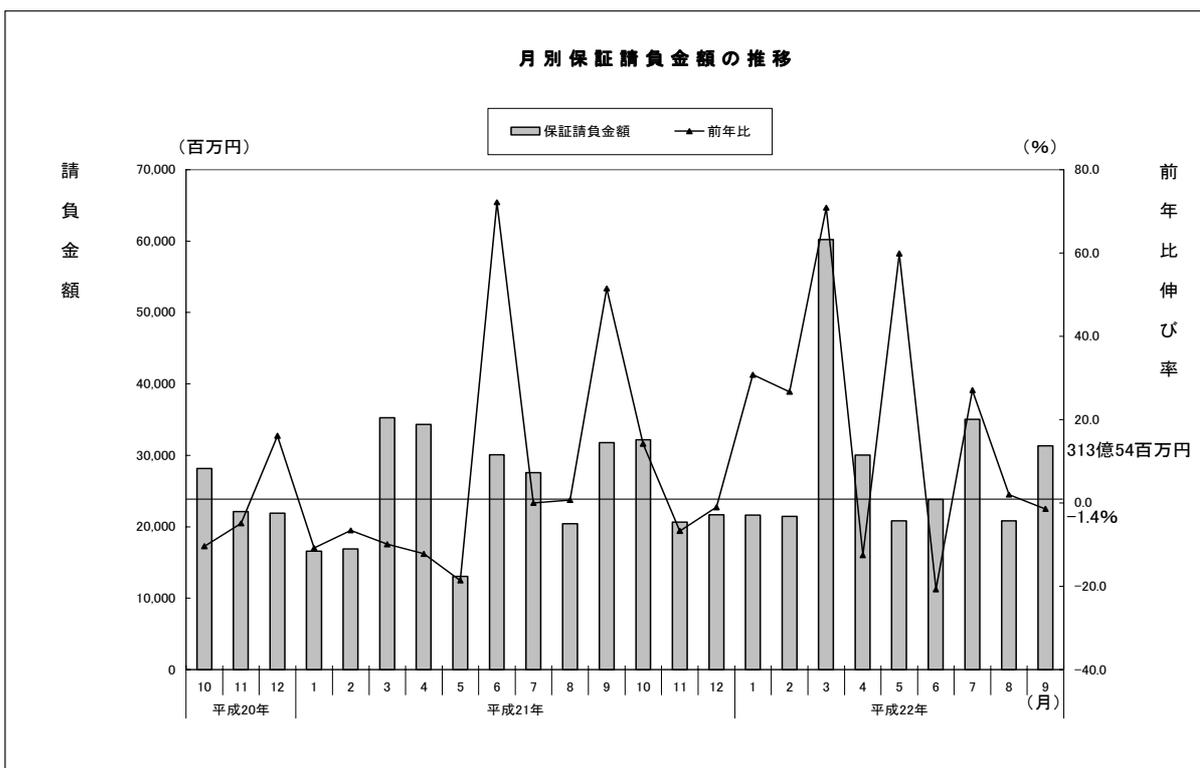
請負金額を平成22年度(22年4月~9)の累計で見ると、1,619億76百万円となり、前年同期比3.0%の増加となった。

### 9月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	34( 26.1)	2,996( 6.7)	和田山八鹿道路別所トンネル工事
独立行政法人等	15( 15.4)	553( 62.8)	
兵庫県	243( 13.2)	15,300( 51.5)	兵庫西流域下水汚泥広域処理場1・2系溶融炉改築工事
神戸市	47( 16.1)	2,074( 26.3)	
神戸市を除く市町	217( 4.3)	7,524( 43.1)	高田中継ポンプ場受変電設備改築工事
その他の団体	25( 37.5)	2,905( 37.7)	
合計	581( 9.6)	31,354( 1.4)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成22年8月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,187億円、前年同月比16.7%の増加で、総額ベース8か月連続の増加となった。輸出は、船舶などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、科学光学機器などが増加した。一方輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、非鉄金属、たばこなどが増加した。

輸出は4,074億円(前年同月比16.1%増加)と8か月連続で前年を上回った。

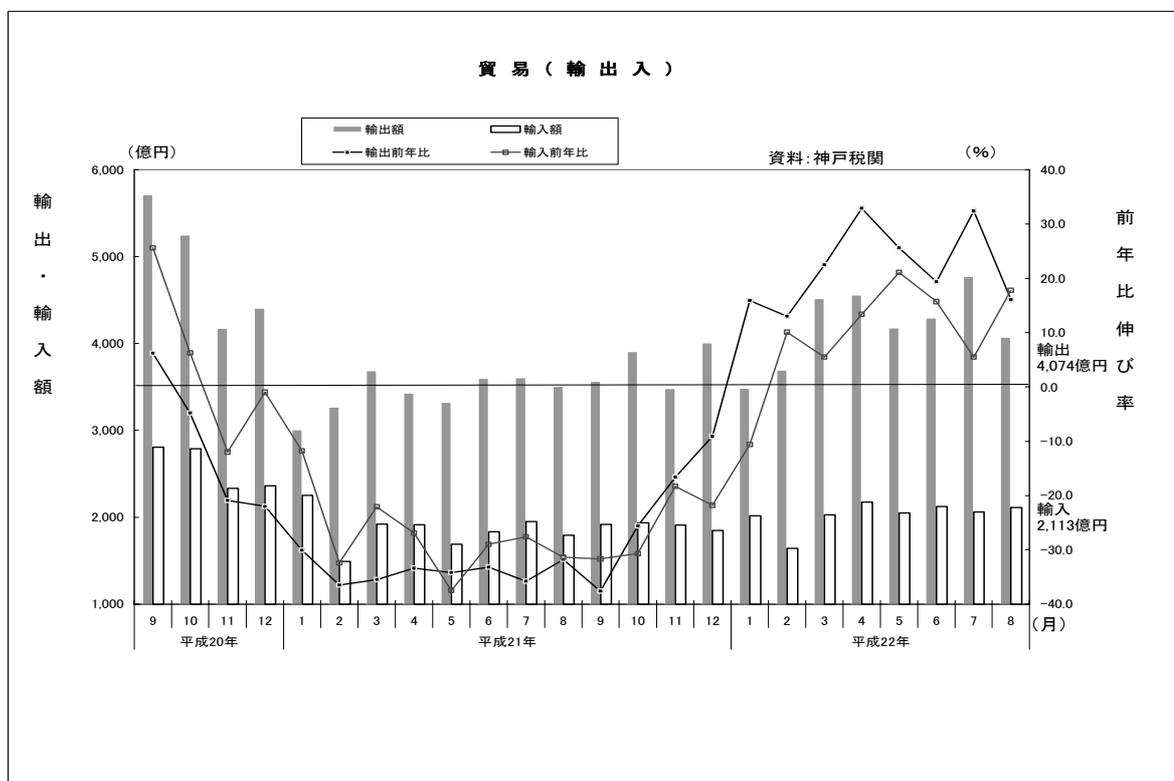
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(同6.2%増、2か月連続プラス)、原動機(同11.3%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同9.7%増、10か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同78.6%増、8か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同18.8%増、9か月連続プラス)、中国(同22.1%増、9か月連続プラス)、米国(同38.6%増、8か月連続プラス)、EU(同9.2%増、2か月連続プラス)向けが増加となった。

輸入は2,113億円(前年同月比17.8%増加)と7か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(同26.9%減、2か月連続マイナス)が減少したものの、たばこ(同24.5%増、2か月連続プラス)、非鉄金属(同2.4倍、7か月連続プラス)、有機化合物(同13.6%増、7か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同15.9%増、7か月連続プラス)、中国(同11.8%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同29.3%増、6か月連続プラス)、EU(同5.4%増、3か月ぶりにプラス)向けが増加となった。



## 【物 価】『消費者物価』

9月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.0(平成17年=100)となり、前月比は0.6%上昇し、前年同月と変わらなかった。生鮮食品を除く総合指数は99.0となり、前月比は0.1%上昇し、前年同月比は0.8%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.3となり、前月と変わらず、前年同月比は1.0%下落した。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が1.6%、交通などの値下がりにより「交通・通信」が0.6%下落した。しかしながら、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が2.1%、シャツ・セーター・下着類などの値上がりにより「被服及び履物」が3.9%上昇した結果、総合指数では0.6%上昇した。

### 9月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品 を除く総 合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.0	105.0	99.1	103.5	88.3	95.2	97.9	98.6	98.0	95.6	100.0	99.0	97.3
前月比	0.6	2.1	0.1	0.2	-0.6	3.9	0.0	-0.6	0.0	-1.6	0.2	0.1	0.0
前年同月比	0.0	1.4	0.4	2.9	-5.5	-5.5	-0.7	0.3	-3.9	-0.8	0.4	-0.8	-1.0

(注)平成17年=100

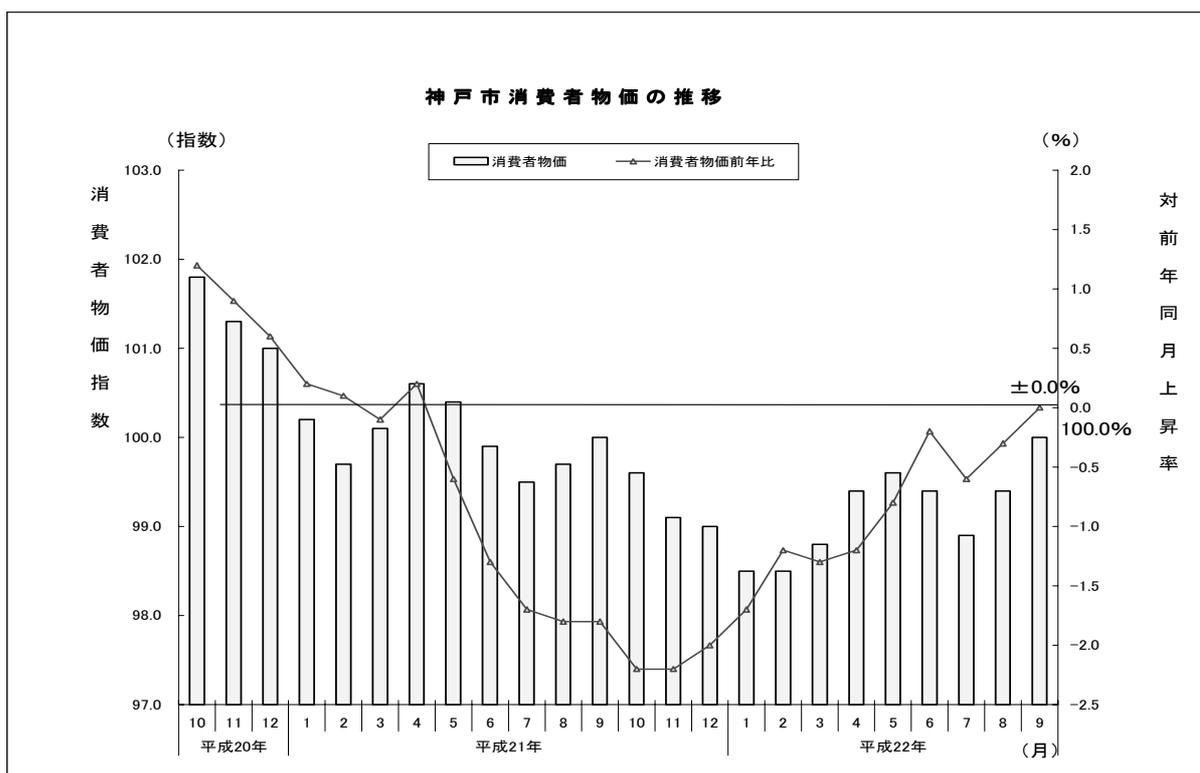
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

- 野菜・海藻 (+ 11.7%)・・・トマト、きゅうり、ねぎ
- シャツ・セーター・下着類 (+ 7.8%)・・・男子セーター、スポーツシャツ、(長袖)

#### 対前月比値下がりした主な品目

- 教養娯楽サービス ( 2.3%)・・・外国パック旅行、宿泊料
- 交通 ( 1.3%)・・・航空運賃、料金(JR、在来線)



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が10月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2010年9月の実績は次のとおり。

### 9月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.8	0.0	0.1
輸 出 物 価	83.8	0.5	5.0
輸 入 物 価	103.5	0.1	2.8

資料：日本銀行調査統計局

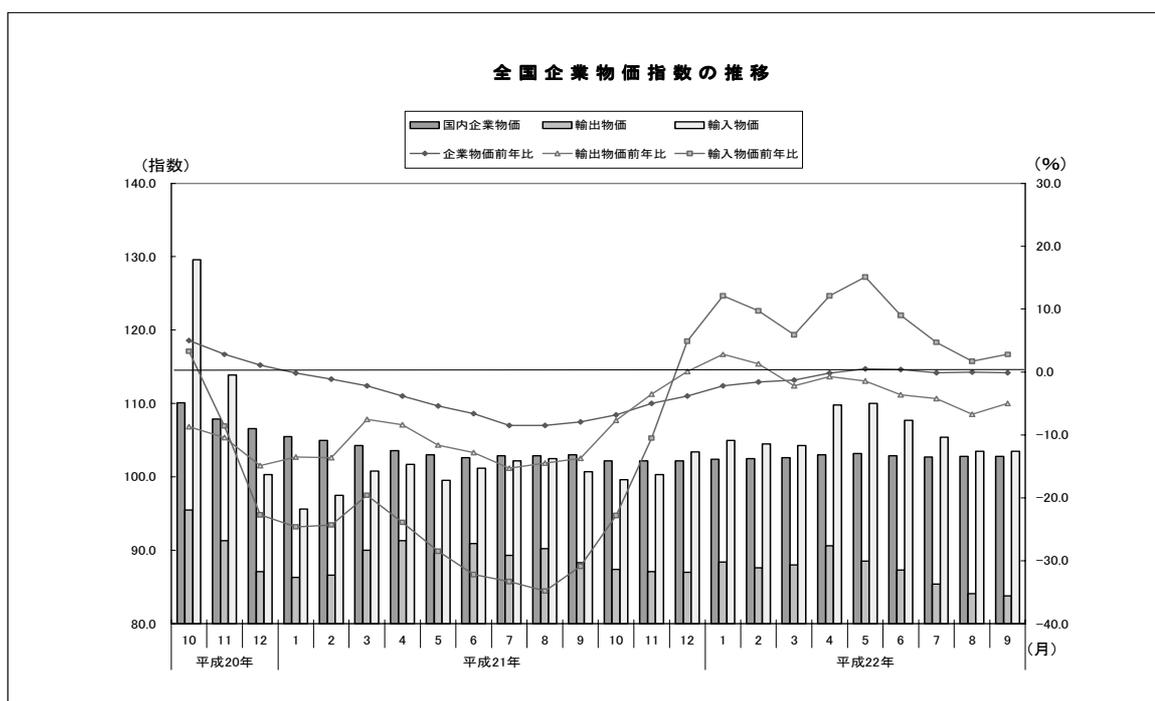
国内企業物価は、非鉄金属(同+1.4% <銅地金、銀地金など>)、鉄鋼(前月比+0.7% <厚中板、熱延広幅帯鋼など>)等が上昇、石油・石炭製品(前月比-2.2% <経由、ガソリンなど>)、金属製品(同-0.4% <シャッター、アルミニウムサッシなど>)等が下落し、全体では前月比同水準となった。

前年同月比では、横ばいとしていた7月分を-0.1%に下方修正したため、2か月ぶりのマイナスとなった。

自動車やパソコンなどの販売競争激化に伴う価格引き下げが影響したほか、円高も押し下げ要因になった。

輸出物価は、金属・同製品(前月比-0.3% <銅地金など>)、電気・電子機器(同-0.8% <ビデオカメラ、デジタルカメラなど>)等が下落し、円ベースでは前月比0.5%の下落(前年同月比-5.0%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-0.6% <原油、液化石油ガスなど>)、電気・電子機器(同-1.0% <電子計算機本体、ディスプレイデバイスなど>)、その他産品・製品(-0.1% <天然ゴム、がん具など>)等が下落し、円ベースでは前月比0.1%の下落(前年同月比+1.8%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内8月の新規求人数(全数)は、21,792人(前年同月比14.2%増、前月比4.6%減)で、4か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は56,014人(前年同月比13.6%増、前月比4.1%増)で4か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比16.5%増で6か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.3%増で4か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同90.0%増で12か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比47.5%増)、製造業(同25.9%増)、運輸業、郵便業(同14.7%増)、卸売業、小売業(同9.5%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同20.8%増)、宿泊業、飲食サービス業(同3.0%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同9.0%増)、教育、学習支援業(同26.7%増)、医療、福祉(同14.1%増)、サービス業(同17.0%増)は前年を上回ったが、情報通信業(同15.8%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

8月の新規求職申込件数(全数)は、23,341件(前年同月比1.9%減、前月比4.6%減)で、3か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は112,366人(前年同月比6.3%減、前月比3.5%減)で3か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比2.4%減で5か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.1%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比43.5%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比5.7%増で6か月連続して、自営・他は同13.9%増で3か月連続して、無業者は同30.8%増で15か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同16.4%減で8か月連続して、自己都合離職者は同1.8%減で3か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、32,269人(前年同月比18.1%減)で、6か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

8月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.88倍で前月を上回り、有効求人倍率についても0.52倍と0.02ポイント改善した。

### (4) 失業者の状況

8月の全国の完全失業率(季節調整値)は5.1%で前月より0.1ポイント低下し、完全失業者数(原数値)は337万人(前年同月差24万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は6.2%(前年同月差0.5ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は63万人(前年同月差6万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
22年8月	21,792	1,681	2,840	224	1,207	3,773	130	386	605	1,536	880	5,114	2,614
前年同月比	14.2	47.5	25.9	-15.8	14.7	9.5	35.4	27.0	20.8	3.0	9.0	14.1	17.0

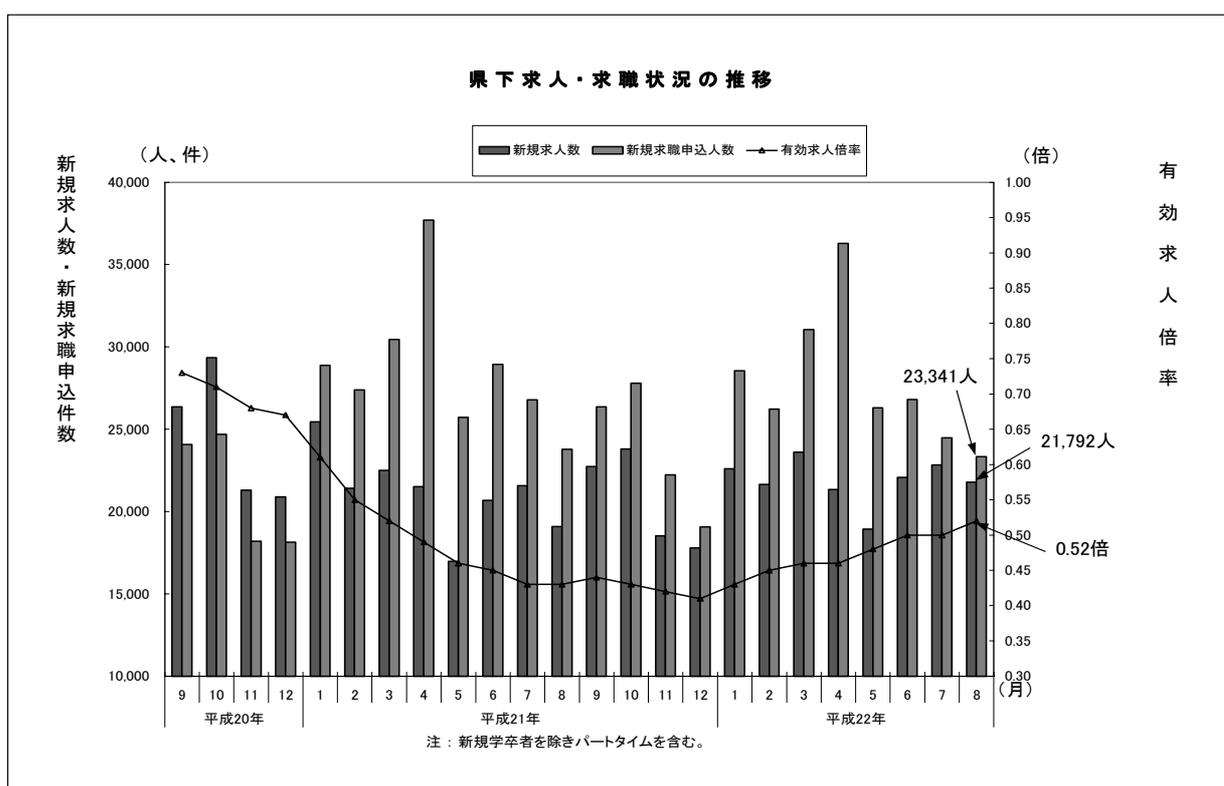
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	09/7-9	09/10-12	10/1-3	10/4-6	10/06	10/07	10/08
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.43	0.42	0.45	0.48	0.50	0.50	0.52
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	15.7	16.0	2.2	5.4	6.8	5.9	14.2
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	10.2	6.0	5.6	13.2	12.3	16.1	14.3
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.5	0.6	0.5	1.1	1.5	1.0	1.4
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	5.4	5.0	0.7	0.7	0.1	0.0	0.6

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



## 【信用保証】

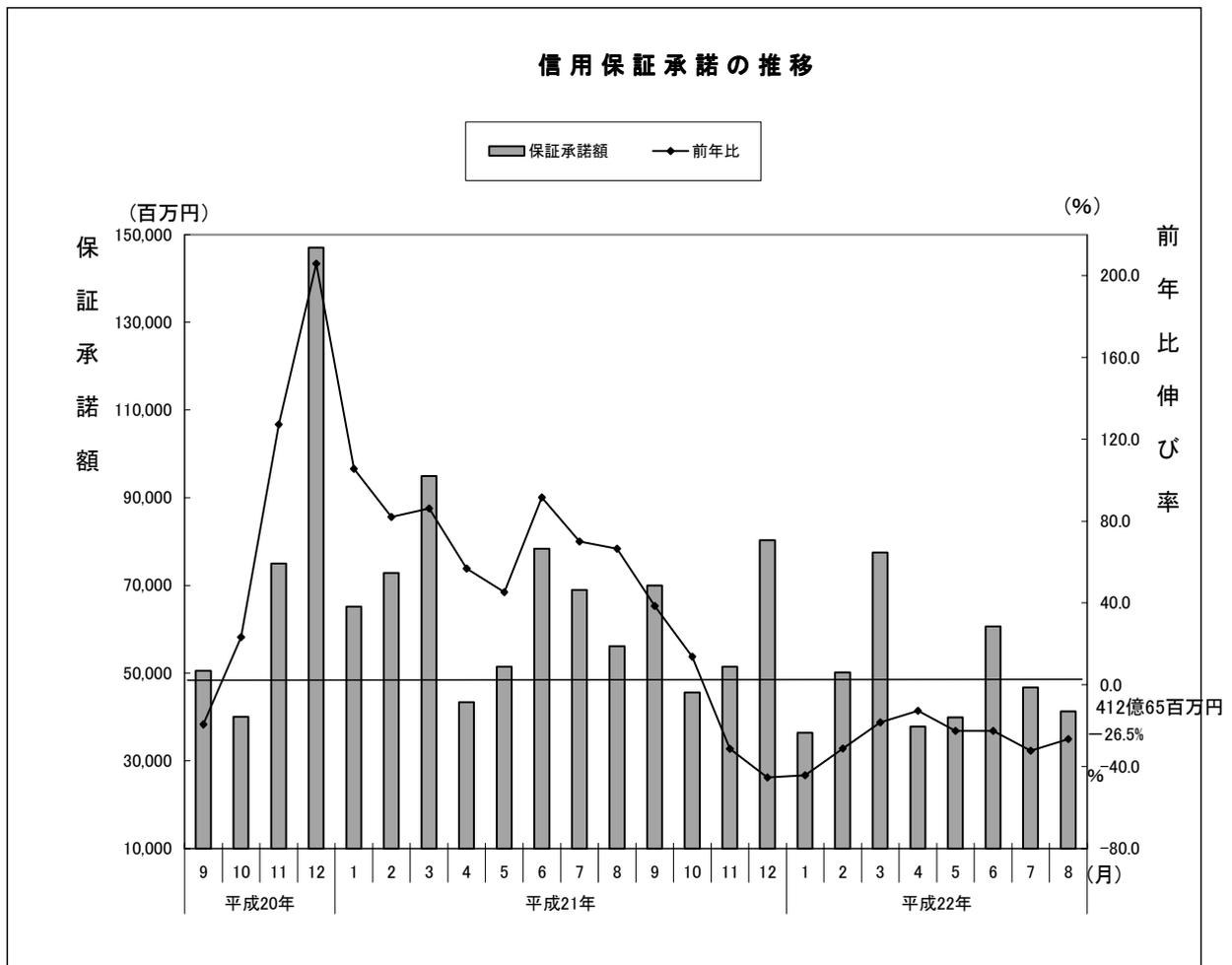
兵庫県信用保証協会による8月の保証承諾実績は、件数で2,502件(前年同月比19.9%減)、金額は412億65百万円(同26.5%減)となり、10か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が急増していた反動で、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」2,818百万円(前年同月比18.9%増)、「不動産業」2,037百万円(同18.5%増)で前年同月を上回り、「小売業」5,444百万円(同20.9%減)、「建設業」10,675百万円(同23.9%減)、「卸売業」7,992百万円(同24.4%減)、「サービス業」4,214百万円(同26.7%減)、「飲食店」957百万円(同35.6%減)、「製造業」7,095百万円(同46.7%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、272件(前年同月比43.7%減)、33億43百万円(同40.2%減)となった。

8月末の保証債務残高は、118,725件(前年同月比2.7%減)、1兆4,667億82百万円(同1.5%増)となった。



## 【金 融】

8月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位:億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	136,072	1.6	57,808	0.2
地 方 銀 行	23,067	0.1	18,736	1.1
第 二 地 方 銀 行	29,897	1.6	19,406	4.4
信 用 金 庫	77,295	2.0	38,202	2.3
そ の 他	16,026	2.2	16,504	0.7
計	282,357	1.6	150,656	1.2

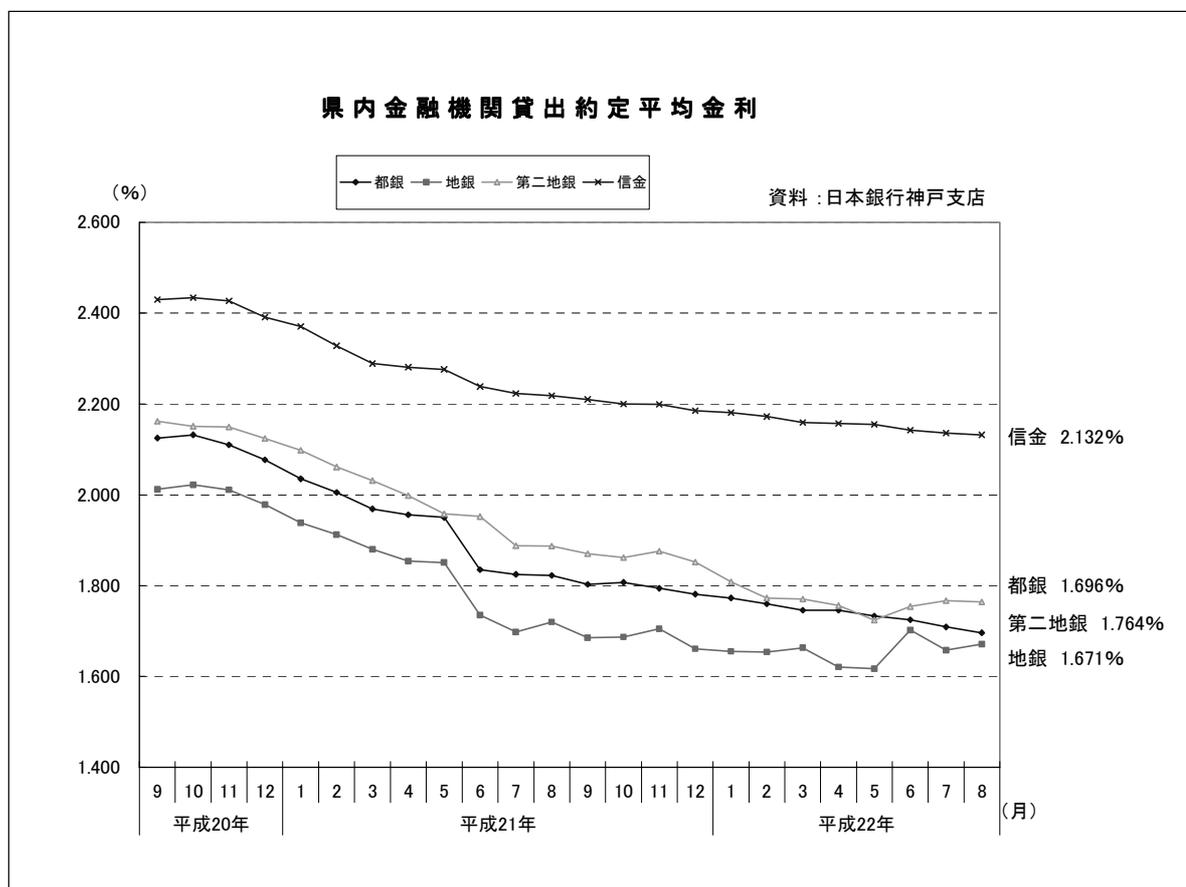
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

8月の預金は、前年を上回って推移している。

8月の貸出は、前年を下回って推移している。

8月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(8月末水準 1.856%、前月比 0.005%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 8 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 57 件で前年同月比 11.8%増加、負債総額は 134 億 52 百万円で同 3.7%の増加となった。倒産件数は、前月比 4 件増加、前年同月比でも 6 件の増加となり、前年の月間平均件数 62.6 件より 5.6 件の減少であった。負債額 1 億円未満の小口倒産は 42 件で全体の 73.7%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が 46 件(全体の 80.7%)と前月より 8 件の増加。2 番目は放漫経営 4 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は 49 件と圧倒的に高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業と不動産・サービス他業が各 13 件(各全体の 22.8%)と最も多く、3 番目は金属・機械・電機業 9 件、食品業 8 件と続いている。

兵庫県下の 8 月の企業倒産件数(負債総額 1 千万円以上)は 57 件で、前月比 4 件の増加となり、2 か月連続の減少基調から再び増加へと転じた。

日本銀行神戸支店が 10 月 5 日に発表した「管内金融経済概況」によると、「管内の景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは幾分鈍化している」と 3 か月連続して同判断であった内容から下方修正した。

ここ 3 か月間の倒産件数自体は 50 件台で推移しており、今年上半期に見られた様な大幅な増減は発生してはいないが、個人企業の倒産が未だに多く、負債総額の小さな小口倒産が常態化、また「不況型倒産」が 49 件(全体の 86.0%)と依然として圧倒的な割合を占めている。「産業別」では、内需低迷の影響を受けやすい「サービス・他業」、従前から上位に位置している「建設業」を筆頭として倒産が多く発生している。景気を足下で支えている中小・零細企業を取り巻く環境は未だ厳しく、さらに、ここにきて経営体力を損耗していた中堅規模以上の倒産が散見され始めている事にも留意が必要。前述の「管内金融経済概況」では最後に「全体として悪化を見込んでいる」と結んでおり、近時の急激な円高傾向や低迷する株価、貿易を取り巻く諸問題などマイナス要因が挙げられ易い現状を踏まえると、中小・零細企業を中心として中堅企業までを含めた幅広い範囲において、今後の動向を注視していく必要がある。

### 9 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	4	0	5	-1	金属・機械・電気	9	10	-1	1	8
過小資本	2	3	-1	3	-1	化学・薬品	1	1	0	0	1
連鎖倒産	0	3	-3	5	-5	ゴム・皮革・ケミカル	2	0	2	2	0
赤字累積	3	2	1	4	-1	食品	8	5	3	9	-1
販売不振	46	39	7	34	12	建設	13	13	0	12	1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	13	16	-3	17	-4
その他	2	2	0	0	2	運輸・通信他	11	8	3	10	1
合計	57	53	4	51	6	合計	57	53	4	51	6

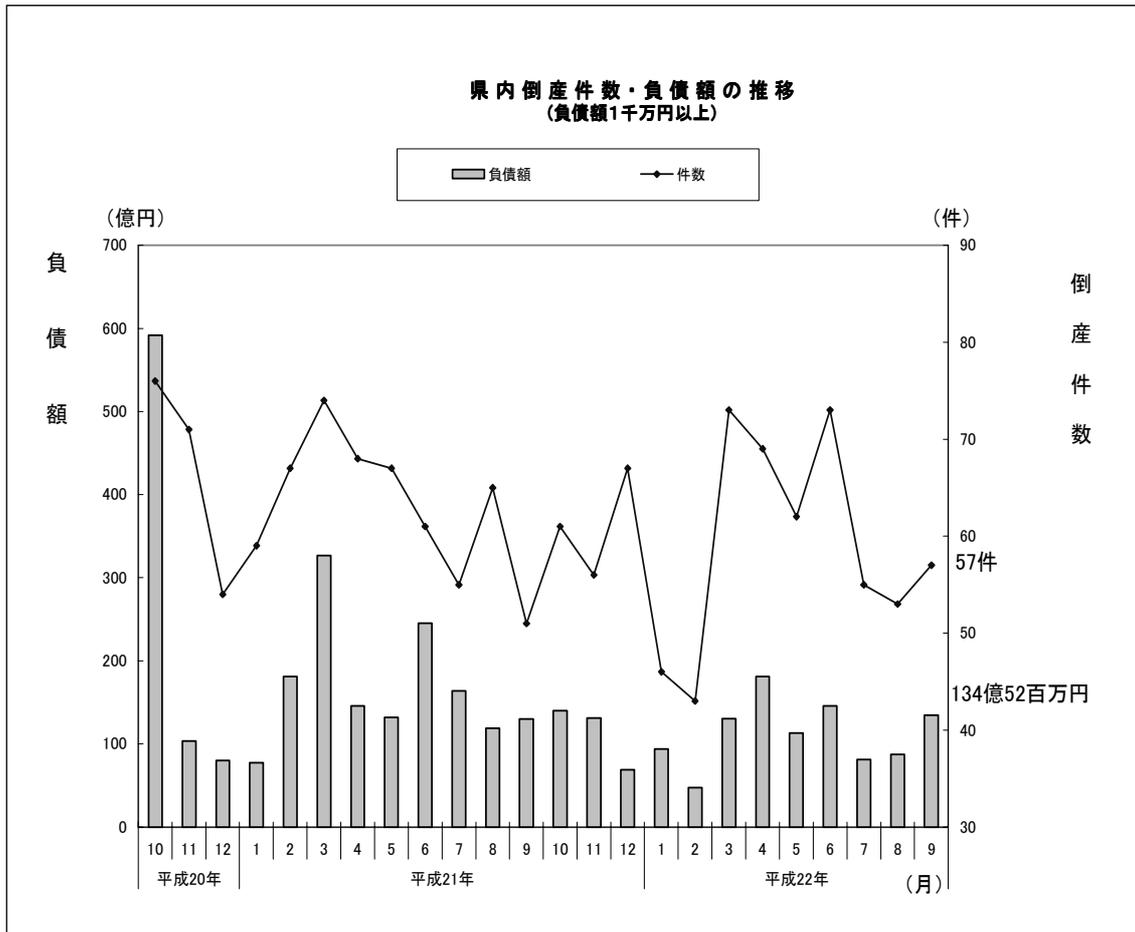
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
17年 平均	54.1	17.5	15.9	8.5	8.8	1.8	0.8	0.8
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 1月	46	11	17	8	6	2	0	2
2月	43	17	12	4	8	0	1	1
3月	73	24	25	11	6	3	0	4
4月	69	21	28	11	8	0	0	1
5月	62	22	18	14	3	2	1	2
6月	73	26	25	14	4	1	1	2
7月	55	12	21	10	8	1	2	1
8月	53	20	14	6	9	1	2	1
9月	57	22	17	6	8	3	0	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



## 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
21年 1月	83.1	-9.4	76.0	-10.0	166	-10.8	1.9	2,015	-31.4	-18.7
2月	78.4	-6.2	68.7	-9.4	169	-6.6	-2.8	2,500	-31.7	-24.9
3月	80.5	2.0	70.6	1.6	352	-9.9	15.3	3,019	-14.5	-20.7
4月	78.7	0.4	74.3	5.2	343	-12.2	20.5	2,991	-21.0	-32.4
5月	79.9	1.4	79.2	5.9	130	-18.6	2.5	2,139	-40.3	-30.8
6月	84.1	5.5	81.0	2.4	301	72.2	12.7	2,582	-38.6	-32.4
7月	81.9	2.5	82.4	1.9	276	0.0	2.5	2,631	-24.1	-32.1
8月	84.3	1.9	84.1	1.8	204	0.7	8.7	2,149	-36.8	-38.3
9月	85.5	3.2	85.1	1.4	318	51.5	22.1	2,502	-19.5	-37.0
10月	87.0	2.1	86.1	0.5	322	14.2	8.3	2,888	-14.5	-27.1
11月	89.0	3.3	88.3	2.6	207	-6.7	0.0	2,873	-3.0	-19.1
12月	90.5	0.9	89.9	2.2	217	-1.0	10.3	3,001	-12.4	-15.7
22年 1月	95.6	1.7	91.9	2.5	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.0	0.3	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	95.9	-0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	r 94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	p 98.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月					314	-1.4	-18.8			
10月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
21年 1月	10,082	-21.3	-20.0	213	-10.1	-9.2	3,009	-30.1	2,256	-11.6
2月	13,129	-25.3	-24.4	159	-13.3	-11.4	3,269	-36.5	1,491	-32.4
3月	17,786	-23.5	-24.5	192	-15.7	-12.9	3,689	-35.5	1,923	-22.0
4月	9,162	-21.8	-22.8	180	-8.9	-11.3	3,433	-33.4	1,918	-26.8
5月	9,482	-18.6	-17.4	167	-19.6	-12.7	3,326	-34.2	1,689	-37.4
6月	12,600	-10.3	-12.2	193	-6.9	-8.9	3,599	-33.2	1,834	-29.0
7月	14,538	0.0	-2.8	212	-12.0	-11.8	3,606	-35.8	1,953	-26.6
8月	9,906	1.1	3.2	164	-9.8	-8.9	3,509	-31.8	1,793	-31.3
9月	17,427	10.8	4.2	167	-6.9	-7.8	3,566	-37.6	1,916	-31.7
10月	13,934	10.6	7.8	178	-8.8	-10.6	3,908	-25.6	1,936	-30.6
11月	14,618	26.8	24.7	194	-15.9	-11.8	3,483	-16.6	1,909	-18.2
12月	12,899	29.1	27.3	271	-1.3	-5.1	4,008	-9.1	1,850	-21.8
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,175	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	2.6	2,047	21.1
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,296	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.3	r 4,774	32.4	r 2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	p 4,074	16.1	2,113	17.8
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1					
10月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
21年 1月	0.61	0.65	1,003	5.2	99.3	-3.2	100.2	0.2	100.7	0.0
2月	0.55	0.58	1,003	5.6	99.7	-5.2	99.7	0.1	100.4	-0.1
3月	0.52	0.53	996	4.8	98.0	-6.1	100.1	-0.1	100.7	-0.3
4月	0.49	0.48	1,009	4.3	98.3	-5.5	100.6	0.2	100.8	-0.1
5月	0.46	0.46	1,014	4.8	96.8	-4.9	100.4	-0.6	100.6	-1.1
6月	0.46	0.45	1,012	4.8	97.4	-4.9	99.9	-1.3	100.4	-1.8
7月	0.43	0.43	1,008	4.3	97.5	-5.0	99.5	-1.7	100.1	-0.3
8月	0.43	0.42	1,007	4.2	97.1	-4.1	99.7	-1.8	100.4	-2.2
9月	0.44	0.43	1,007	4.2	97.8	-4.1	100.0	-1.8	100.4	-2.2
10月	0.43	0.43	1,003	4.9	96.9	-4.9	99.6	-2.2	100.0	-2.5
11月	0.42	0.43	1,003	5.0	97.7	-3.1	99.1	-2.2	99.8	-1.9
12月	0.41	0.43	1,005	5.0	97.3	-3.9	99.0	-2.0	99.6	-1.7
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	99.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.5	-0.9	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.6	-0.3	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.7	-0.8	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月							100.0	0.0		
10月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	地域別倒産件数				
	指数	前年比 %				件数	金額 (億円)	神戸 (件)	阪神 (件)	播磨他 (件)
21年 1月	105.5	-0.2	152,735	-1.0	1.824	59	78	18	18	23
2月	105.0	-1.1	152,526	-0.8	1.795	67	181	20	26	21
3月	104.3	-2.2	155,403	-1.8	1.776	74	326	29	16	29
4月	103.6	-3.8	153,829	-0.8	1.756	68	146	28	16	24
5月	103.0	-5.4	154,526	-1.4	1.746	67	132	21	16	30
6月	102.6	-6.6	153,000	-1.5	1.703	61	245	18	13	30
7月	102.9	-8.5	153,523	-1.0	1.697	55	164	13	15	27
8月	103.0	-8.5	152,439	0.1	1.694	65	119	27	21	17
9月	103.0	-7.9	153,641	2.3	1.680	51	130	18	21	12
10月	102.2	-6.8	153,086	2.1	1.680	61	140	22	15	24
11月	102.2	-5.0	152,173	0.8	1.674	56	131	17	21	18
12月	102.2	-3.8	153,743	0.2	1.655	67	69	28	24	15
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.5	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.1	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	p 102.8	-0.1				57	135	22	17	18
10月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値